



ほうらい

教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和4年 7月11日
第15号 文責：亀丸

協力する力を高めた宿泊学習

6月30日(火)～7月1日(金)に5年生の宿泊学習が行われました。梅雨真っ只中の実施で天候が心配させられましたが、1日目の沢遊びやキャンプファイヤーで若干雨が降ったものの、子ども達の祈りが通じ、予定していたプログラムをすべて実施することができました。5年生の子ども達は、持ち前のチームワークをいかに発揮し、大自然の中で充実した2日間を過ごすことができました。活動の様子を紹介します。

【1日目】



入所式や施設の使い方についてのオリエンテーションを終えた後、じゃぶじゃぶ広場にバスで移動し、桂沢で沢遊びを

楽しみました。全員ライフジャケットを着用し、冷たい沢水をものともせず、時間いっぱい水遊びを楽しみました。沢を上ったあとはじゃぶじゃぶ広場でおいしいおにぎりを食べました。自然の中で食べるおにぎりの味は格別だったようです。

所に戻り、ベッドメイキングを済ませた後、自分達の夕飯を野外炊事で作りしました。メニューはもちろんカレーライスです。薪の火で炊飯をするのはとても貴重な経験です。炊飯器で炊くご飯と違っておいしく感じた子どもも多かったようです。もちろん大きな鍋でつくるカレーも家のカレーとは一味違っておいしかったそうです。かまどの準備や片付け、食後の片付けもしっかりとできました。



1日目の最後の活動はキャンプファイヤーでした。第1部【迎え火の集い】では、祭時の山から火の神が降りてきて、子ども達に「友情・協力・努力の火」を授けました。祭時の火の神は女性でした。たいまつに燃え移る火がとても新鮮だったようです。その後、それぞれの火を授かった子ども達が井桁に点火。井桁は大きな炎をあげました。第2部【交歓の集い】では、あかあかと燃え上がる薪の炎を囲みながら、フォークダンスやグループの出し物(寸劇等)を楽しみました。大いに盛り上がったあとの第3部【送り火の集い】では、ゆっくり静かに燃える炎を見つめながら火の神を見送り、楽しかった集いの時間を終えました。



その日の夜は宿泊施設でゆっくりと休みました。友達と過ごす一夜はとても楽しかったようです。中にはあまり眠れなかった子もいたようです。お風呂はもちろん温泉です。体の疲れがしっかりとれたようです。

【2日目】

最初の活動はウォークラリーでした。これは地図を見ながら山の中を移動し、コース上の各ポストに設定された問題を解きながら、グループ全員でゴールを目指す活動です。子ども達はグループで相談しながら、進路を決めたり、問題に答えたりしながら、祭時の山を駆け巡りました。けんかをしないことと30分びつたりでゴールするというルールで競い合いました。もちろん時計はもっていないので、自分達の時間の感覚だけが頼りです。早くゴールしても遅くゴールしても減点になるので、上手に調整するのがとても難しかったようです。問題を解くときの協力は素晴らしいものでした。「けんかをしない」は守ることができました。



次は所に戻り七宝焼きをしました。土台となる銅板を紙やすりで削り、自分で選んだ色の釉薬をホセ（木のへら）でもり上げるように塗ります。その次にフリット（ガラスビーズ）をのせ、窯で焼き上げると完成です。焼きあがるまではどのような模様になるか分からない部分があり、フリットが溶けたあとどのような模様になるかを想像しながら、フリットの置き場所を考え丁寧に作業を進めました。その甲斐があって、個性豊かなデザインの七宝焼きが完成しました。きっと宿泊学習の思い出の品としていつまでも大切にすることと思います。みんな小さな芸術家になった気分でした。



宿泊学習最後の食事は、宿泊施設で取りました。ウォークラリーでお腹がペコペコになっていたのも、おいしく食べることができました。メニューはチキンカツでした。給仕や盛り付けも自分達で行いました。



保護者の皆様には、宿泊学習の事前準備、お子様の体調管理等たくさんご協力いただきました。おかげ様で充実した2日間を過ごすことができました。ありがとうございました。

初めて子どもだけで宿泊させるというご家庭も多かったのではと思います。子ども達は仲間同士で声をかけ合いながら、互いを思いやって活動することができました。今回仲間と協力して学んだことや体験したことはきっと修学旅行で活かされることと思います。

